

国立大学法人 長岡技術科学大学

平成25年度第5回(第59回)経営協議会議事要旨

日時	平成26年3月14日(金)15時00分～16時30分
場所	KKRホテル東京11階【朱鷺】
出席者	新原議長、東委員、池田委員、縣委員、宮下委員、山崎委員、武藤委員、東委員、宮崎委員、中出委員、斎藤委員(議事の表決の委任による出席者:岡田委員、小畑委員、神野委員、相岡委員、森委員)
陪席者	平山監事、滝上監事、伊藤附属図書館長(高橋長岡市理事(商工部長)兼エネルギー政策監)
事務局	総務部長、企画・広報室長、総務課長、人事・労務室長、財務課長、総務課副課長、財務課副課長、財務課予算係長、総務課人事・労務室人事係長、総務課総務係主任、総務課総務係長

議事に先立ち、議長より第58回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 平成26年度年度計画(案)について

武藤委員より、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 技学に基づくグローバル・イノベーションリーダー育成に向けた大学機能強化構想について

武藤委員より、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- “技学に基づく”というタイトルについて、一般的にはこの技学という言葉は難しい言葉であり、容易に認知度が広まるものでもないため、多くの方が聞いて、なるほどと言うような言葉を使った方がよいのではないか。
- 技学は、本学の理念であり、今こそ技学のコンセプトが必要と考えている。技学の理解のされ方について、また、わかりやすい表現とすることについて、今後さらに検討が必要だと考えている。
- 一般の大学は、研究が社会に役立つかどうか、産業に移転する技術への橋渡しが非常に少ない。技術科学大学の設立構想は、産業にもとがあり、技術があつてそれを科学し、普遍的なものに変えて、他の産業をつくっていくものである。大学の研究から産業実現までつながる道をつくるというのが技学であり、そのような説明をさらに続けていく必要があるのではないか。
- 教育研究の組織改革を行い、最終的には、大学の研究から産業に移転する技術へとつながることを目指していく方向に持っていかなければいけないと考えている。

3. 研究戦略本部の設置について

武藤委員より、資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 就業規則等改正について

宮崎委員より、資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 業務達成基準指定業務の翌年度への継続（案）について

宮崎委員より、資料5に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

6. 平成26年度予算（案）について

宮崎委員より、資料6に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. 平成24年度目的積立金の使用計画（案）について

宮崎委員より、資料7に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1. その他

学長より、平成26年3月末日をもって任期満了となる外部委員について、配付資料に基づき報告があった。引き続き、退任される東委員より挨拶があった。

以上